

「すべて最上なるものは、  
一歩を誤ると中間には留まり得  
ないで最下に転落する」とは、  
げに至深の真理というべし。

森信三先生一語千鈞より

生 死



山 山 又

又

# 中・高生のための「人間の生き方」

森 信三先生 講述

## — 人間学 小門 —

### 六 人間にはなぜ勉強が必要か

前章においては、皆さん方の中には、きょうこそ勉強しようと思ったのに、ついテレビを見てしまつて——という人も、たくさんいられるのではないのでしょうか。最初に申したように、皆さん方は、今人生において一ばん大事な「立志」の年ごろなのです。そのだじな基盤形成の時期に、毎日一時間も一時間半もテレビに釘づけになつていようでは、何ともナサケない次第です。

わたくしは、今、「テレビこそ勉強の大敵」であると断言してはばからない人間です。ですから何よりも先ずテレビの誘惑に打ち勝つ人間になつて頂きたい——のであります。何となれば、テレビとは、スイッチ一つで常設映画館に早代わりするのですから、テレビの見通しでは、結局映画館に入りびたりと同様です。これでは人間がふやけないとしたら、全く不思議という外ないわけです。それにしても皆さん方の内には、まさか勉強部屋の中にまでテレビを置いていような人はないでしょうね。万一そういう人があつたとしたら、今日帰つたら直ちに勉強部屋からテレビを追放して下さい。

今こそ、皆さん方の一人びとりが、テレビに対する根本対策を打ちたてこれを守つて頂きたいのです。たとえば、(一)寝転んでテレビは絶対に見ないとか、(二)一日に三〇分以上はテレビを見ない。(三)また見る場合は必ず二メートル以上離れてみる等、自分で規律をつくつて、それをきびしく守ることが肝要です。

何と申しても、皆さん方の年代は、(一)勉学にうちこんで学力を身につけること、そして(二)スポーツその他で身体を鍛えるという大事な時であります。すな

## 実践人福岡仁風読書会

第74回 3月11日(土)

場所：仁風庵

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます。)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

わち、もつぱら心・身の鍛錬・習得に熱中すべき時であります。それには、第二章で申したように、「腰骨をたて通す」ことが最根本的な対策なわけです。何となれば「立腰」こそが、集中力と持続力及び忍耐力を身につける、何よりのキメ手だからであります。言いかえますと立腰こそ、心・身統一の唯一絶対の根本法則なのです。ですから皆さん方も、ひとつ、各自でやつてみて下さい。なるほど、これなら確かにやる気が湧く。そして集中力も出、さらに持続力さえつくに違いない——と、必ずや思い当られることと思います。

同時にこの立腰は、ひとり勉強の時だけその効力を發揮するのではなくて、スポーツにおいても、また日常生活においても、大いにその威力を發揮するのであります。たとえば、行動が俊敏になるとか、判断力がしつかりする、さらにバランス感覚がよくなる等々といえます。というのも「腰骨」というものは人間の要であり、同時に大黒柱だからであります。

次に勉強について申したい大事なことは、中学なり高校へ入学されたら、一年生の第一学期の中間試験には、全力をあげてこれにあたるということです。これをわたくしは皆さん方に、切におすすめるのです。と申しますのも、このスタートの試験の順位というものは、今後の勉強意欲に大いに反映するものだからであります。ですから、先ず最初の考査には、「死力」をふりしぼつて、全力發揮をされたいものです。それから、もう一つ、分かりきつたことですが、勉強というものは、「つみ重ね」が大切ゆえ、怠けたり休んだりして、毎日の「つみ重ね」を怠らないということです。そのためには、毎日自分で決めた勉強時間は、必ず守り抜くということです。

たとえば、毎日新出漢字をノートに二ページ書くとか、英語はリーダーの英語調べページとか、数学は問題集〇ページとか、とにかく「一度決心」したことは、必ず守り抜く」ということが、大事な岐れ路となるわけです。

次には、ひとり勉強に限ったことではないですが、学習面でも「遅れないこと」であります。と申すのも、かりに分かりにくい点に出合っても、それをそのままにしておかないで、先生なり友だちなりに聞いて、これを解明しておくことです。また、不明の点を分るまで説明してもらおうためにも、人によっては、塾に通っている人もあるのではないのでしょうか。

とにかく、不審の点はそのままにしておかないで、納得のゆくまで徹底して解しておくことが、学習面では最も大事なことと思います。とにかく皆さん方は、中学で了えるか、高校で了えるか、または大学まで進むか、そのいずれにしろ、将来、就職か独立業かのいずれかの道しかないわけですから、それらの中のいずれの道を進むにしても、人間としての「基礎学力」というものは、一生つきまとうわけでありませう。皆さん方も将来、社会人として読むこと、書くこと、発言することからまぬがれないのであります。ですから中・高生の皆さん方は、今こそ、基礎学力を身につけるよう勉強に励んで下さい。とりわけ中学生時代に怠けておりましたと、一生の悔を残すこととなりますから、現在低迷している人は、たとえ一教科なりとも真剣にとり組み、一つの突破口を見つけて頂きたいのです。すると勉強というものは、決してつらいばかりではなくて、実に楽しいものだという実感を、必ずや持たれることでしょう。

もつとも人間としてのネウチは、テストの成績の結果だけで決められないのは事実であります。しかしその人がその教科に関する限り、真面目に取り組んだかどうかの判定は、ある程度できると思います。われわれ人間は出来るだけ真面目に、いつも自分の全力を出して物ごとに取り組まねばならぬのであります。そして、おたがい人間も、それぞれ真面目に真剣に生きたら、それぞれその人独特のもち味というか特色が出てきて、その間容易に優劣をつけるわけにはゆかないのであります。

## 若者よ車中では起とう!! 山本 紹の介

私は、子どもは幼少期から乗りものでは起たせるべきだと思っている。それにはいろいろな効用が考えられる。平衡感覚が養われるとはよく言われるし、第一自立心が養われ自律性が強まる。また脚力が鍛えられ、腰が立ち、姿勢がよくなり、健康に役立ち、気力を強める。さらに起つことは知能を鋭敏にする。またがまん強く、忍耐力も培われ、強い意志を養う。さらに苦勞することから、人に対して思いやりの心が育ち、人間的な暖かさが養われる。このように幾多の面でプラスがあると思う。

私は今自分の勤務している中学校では、できるだけ車中では起つようと生徒に働きかけている。遠方への校外学習や野外活動で疲れて帰る時も、車中では坐らないで最後までがんばり続けてみようと呼びかけている。

欧米では子どもは車中で起つのが社会通念だという。わが国ではそれがまるで反対になっている。

「車中では子どもを起たせよう」

「若者よ！車中では起とう！」

私はすべての全国の学園で、教師と父母の協力の下に、車中では起つ」という教育運動が展開されるようにと願っている。それが二十一世紀を担う頼もしい人間を育てることになると思う。

## 第一章 人の行かない道に行く

日本は本当に繁栄しているのか

世相はすべて人の心の反映



美しい姿や言葉、優しい仕草は、その人を生き活きとさせるだけでなく、周囲の人々の心までも潤す力を持っています。背筋を伸ばし、姿勢を正している姿そのものが周囲を浄化させるのです。残念なことに、このような人に会うことが少なくなりました。

反対に、日本はいま、普段口にするのが憚られるような乱れた汚い言葉が氾濫するようになりました。街頭や乗り物の中にあつては、聞きたくなくとも聞かざるを得ず、心が暗く沈んでしまいます。

美しい姿や言葉、凛とした姿勢が周りの人々の心を潤すのとは反対に、汚い言葉や卑しい仕草、横着で醜い態度が人々の心を暗くし、苛立たせるのはいうまでもありません。言葉と態度・表情・仕草は一連のものであり、すべてその人の心から生じています。

人の心を穏やかにし、思いやりのある優しい心にするのは、子どもにとっては親の義務であり、会社にあつては、社員にとっての経営者の欠かせない責務であります。いまの日本では、家庭にあつては親が、会社においては経営者が、社会ではリーダーがこの責務を怠っているか、まったく気づいていないかのどちらかであり、そのために起こる事件は目を覆うばかりです。これらのことは、企業が自社の繁栄のみに目を奪われていて、地球の資

源を貪り尽くすだけでなく、多くの人々の心を奪い、人間らしさを失わせたことから生じているものばかりです。

「信じられない」、「このようなことがあつてはならない」など、何かが起こるたびに関係者の口から出る言葉が空しく聞こえます。しかし、すべてのことは必然として生じたことであり、偶発的なことは一つもありません。すべては起こるべくして起きています。

## ムダな努力はない

人生、ムダな努力は何ひとつありません。

ただ、努力してきたことをムダにしている人が多い  
というだけのことではないでしょうか。

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 352 回

# 博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR九州博多駅  
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 ハウスメイト



第352回 博多駅早朝清掃  
3月8日(水曜日)

30年目のスタート！  
54名参加

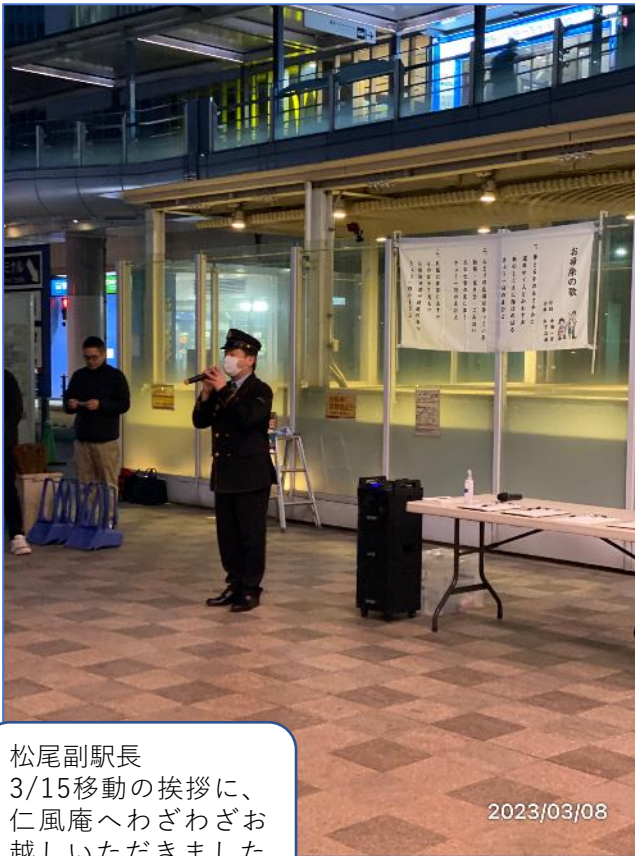


2023/03/08

第352回、参加者は54名と年度末にしてはたくさん参加していただきました。倫理法人会からも会長さんはじめ幹部の方々の参加もありました。日本を美しくする会の利会長さんもサプライズ参加いただき、早朝の博多駅が賑わいました。日々の積み重ね、継続することで博多駅はどんどんきれいになっていくようです。

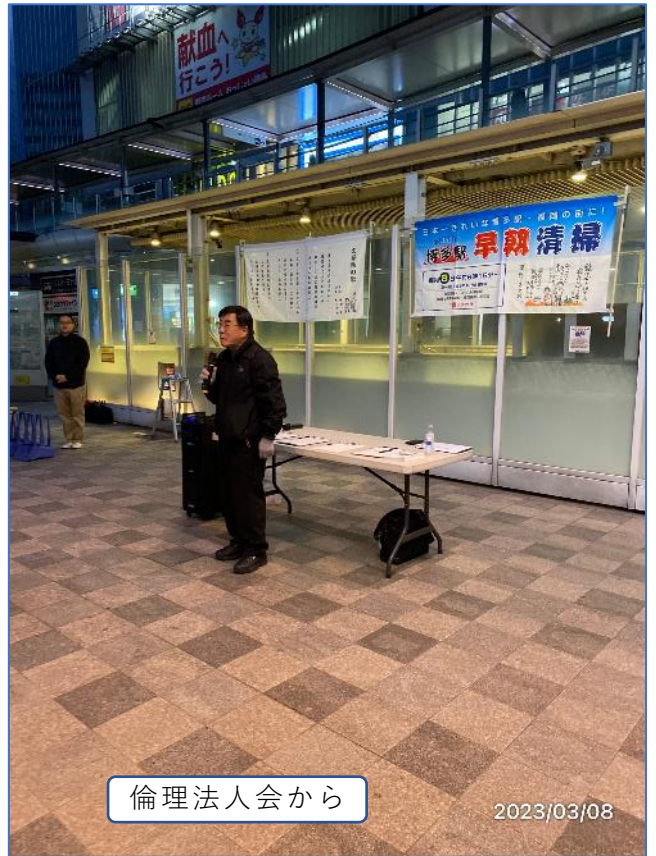
毎月、県外からの参加支援者もあり誠にありがたいと思います。感謝。

けさえもん 拝



松尾副駅長  
3/15移動の挨拶に、  
仁風庵へわざわざお  
越しいただきました。

2023/03/08



倫理法人会から

2023/03/08



初参加者も増えました

2023/03/08



積極的に運営に加わって活動

2023/03/08

【ちょっといい話】

私事ですが、昨年より新幹線をよく利用させていただいています。これまでも偶にあったことですが、福岡の人ごみの中で、知人と偶然に会うことがありました。それでも、博多駅構内で、若い女性から挨拶されることなどありませんでした。挨拶してくれた人を観ても、まったく見覚えがありません。「人違いかなあ」ということも多々あります。

3月17日、博多から鹿児島への新幹線に乗るために博多駅構内で「おはようございます！」と声をかけられました。私服の二人組女性???

「もしかして・・・精華の生徒さん??」?と声をかけると、「はい、卒業しました。」と答えてくれました。掃除の恩恵はこんなにも美しいものです。

**掃除は人の心を磨き続けてくれるのですね!**



2023/03/08

～古き良き時代の日本再生～

# とんぼろ

Instagram



@RAKUNOUJIN1962

===心を耕し、生を拓く===



第2回 とんぼろ海掃隊海岸清掃in長目の浜 R5.3.18

令和5年(2023) 4月号 NO,005

# とんぼろ海岸清掃／薩摩川内市 in長目の浜

## 第2回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》





# 古き良き時代の日本再生をこゝ島から

NPO法人楽農人



土壌改良資材搬入



新潟県からの訪島者



前



後

耕作放棄地の草刈り作業



野生のキジの縄張り争い???



2023/03/17



# 楽農人放浪記 005-1

鹿児島県南九州市

NPO:法人楽農人



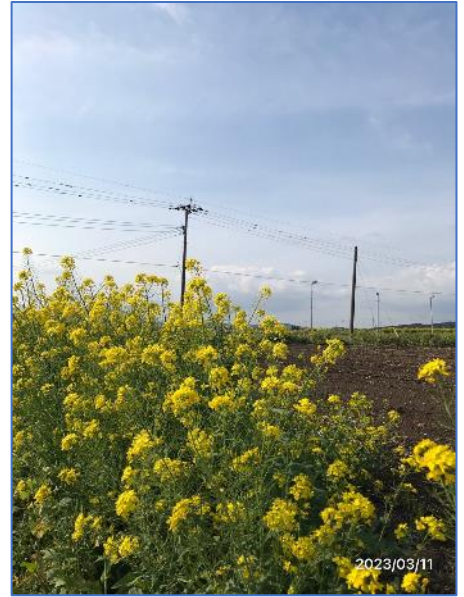
桜島

2023/03/11



開聞岳

2023/03/11



2023/03/11



2023/03/11



2023/03/11



2023/03



2023/03/11



サツマイモの一大産地、穎娃町の農友を訪ねました。鹿児島県では基腐れ病が蔓延し、焼酎製造も減産に追い込まれています。

これを克服すべく、こしき島に合った品種の選定の検討を重ねてきました。この日、こしき島の特徴を引き出せ、且つ焼酎造りへのオリジナル性も兼ね備えた品種を決定することができました。

### 名付けて『こしき茜』

2024年6月の完成を目指してスタートです。

楽農人 けさえもん




	4月			5月			6月			7月			8月		
日	1	8	15	6	8	20	3	8	17	1	8	15	5	8	19
曜	土	土	土	土	月	土	土	木	土	土	土	土	土	火	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 59回	博多駅早朝清掃 第353回	長目の浜海岸清掃 第3回	福岡空港ミリオン清掃 60回	博多駅早朝清掃 第354回	長目の浜海岸清掃 第4回	福岡空港ミリオン清掃 61回	博多駅早朝清掃 第355回	長目の浜海岸清掃 第5回	福岡空港ミリオン清掃 62回	博多駅早朝清掃 第356回	長目の浜海岸清掃 第6回	福岡空港ミリオン清掃 63回	博多駅早朝清掃 第357回	長目の浜海岸清掃 第7回
場所	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市	福岡空港周辺	博多駅博多口	鹿児島県薩摩川内市
開始時刻		6時15分	6時30分		6時15分	6時30分		6時15分	6時30分		6時15分	6時30分		6時15分	6時30分
運営団体	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊	福岡清掃クラブ	福岡清爽クラブ	楽農人 とんぼろ海掃隊

再生四月号 令和五年四月八日発行 (毎月一回八日発行) 創刊 平成二十八年九月一日 発行人 富吉製袋右衛門

発行人(編集人) 富吉 製袋右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ  
 ◇福岡仁風読書会  
 ◇NPO法人楽農人 とんぼろ海掃隊

〈合同事務局〉 〒811-2247  
 福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》  
 TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120  
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)




「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。